

(その他) 指定管理者に求める報告内容

4 年度事業報告書

- (1) 提出期限は業務終了翌年度の5月31日まで(厳守できない場合は、実績評価での減点対象となります)
- (2) 提出方法はPDF化し、各所管の電子メールアドレスへ電子データを添付して提出
- (3) 別添の様式を必ず使用し作成をしてください。また、参考資料の添付も可としますが、参考資料の公表はいたしません。
- (4) 事業報告書は提出後に必ず各所管と協議を実施し、必要に応じて補正等を行い、各所管の承認を得てください。
- (5) ホームページへの公表は、業務開始年度の4月1日です。
- (6) 所定の様式を用いて、ページ数はA4版で最大15ページまでとしてください。また文字の大きさは11ポイントを標準とします。
- (7) 個人情報絶対に含まれないよう、細心の注意をお願いします。
- (8) 設置管理許可制度の収支は指定管理料収支から必ず除外してください。
- (9) 3月決算以外の指定管理者の場合には、提出期限での提出は困難と考えられますので、別途所管環境活動事業課と協議をして、提出日を定めてください。
- (10) 記載の仕方で様式に特に指定のない場合は自由に記載して構いません。また、様式は表の大きさ変更、必要事項の追加や増設を適宜行ってください。計算書類の場合はエクセルに変換して使用しても構いません。特に有料施設の利用回数や稼働率等の標記方法は指定管理者に一任します。

事業報告書様式

- 1 様式1
(年度利用料金収入実績 ※有料施設がある場合のみ該当)
- 2 様式2
(年度観察の森施設及び有料施設利用回数・稼働率(月別) ※利用人数を計測している観察の森施設及び有料施設がある場合のみ該当)
- 3 様式3
(年度観察の森利用状況(園地や無料施設で利用者数を計測している場合及び有料施設がある場合は利用者数を記載。施設数に応じて表を増減してください)
- 4 様式4
(業務の第三者委託実績)
- 5 様式5
(年度修繕実績)
- 6 様式6
(年度増減備品一覧)
- 7 様式7
(苦情対応報告、事故対応報告)
- 8 様式8
(市民サービスの向上や観察の森の魅力向上・利用促進結果)
- 9 様式9
(収支報告書(指定管理料のみ))
- 10 様式10
(運営目標・実績報告)
- 11 様式11
(自主事業実施報告)
- 12 様式12
(利用者アンケート結果)
- 13 様式13
(研修実施報告)

令和 6（2024）年度事業報告書

横浜自然観察の森

指定管理者：



公益財団法人
日本野鳥の会
Wild Bird Society of Japan

(様式1) 年度利用料金収入実績 施設名：研修室

月	有料件数 (件)	金額 (円)	稼働率 (%)	備考 (研修室利用実績など)
4月	1	4,500	3.0%	14件
5月	0	0	0.0%	16件
6月	0	0	0.0%	20件
7月	0	0	0.0%	19件
8月	2	1,500	0.9%	22件
9月	0	0	0.0%	23件
10月	0	0	0.0%	22件
11月	0	0	0.0%	15件
12月	0	0	0.0%	10件
1月	0	0	0.0%	10件
2月	0	0	0.0%	14件
3月	0	0	0.0%	13件
合計	3	6,000	0.3%	198件

(様式2) 年度観察の森施設及び有料施設利用回数・稼働率 (月別)
上記(様式1)参照

(様式3) 年度観察の森利用状況：①利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入園者数(推定)	8,664	12,912	12,540	7,185	2,121	6,630
センター利用者数総計	2,888	4,304	4,180	2,395	707	2,210
前年同期比 (%)	108.9%	101.6%	96.0%	81.8%	81.6%	90.1%
入館者合計	2,579	3,889	3,927	2,118	507	1,988
内訳						
個人利用者	1,340	1,644	805	468	336	536
団体利用者	990	1,844	2,569	1,484	156	1,196
(団体数)	24	38	47	22	6	20
(対応団体数)	6	12	19	6	2	8
行事参加者	185	304	468	110	0	221
友の会行事参加者	64	97	85	56	15	35
ボランティア合計	309	415	253	277	200	222
内訳						
友の会ボランティア	307	398	232	264	193	221
施設ボランティア	2	17	21	13	7	1
センター利用者数累計						
R6年度累計	2,888	7,192	11,372	13,767	14,474	16,684
前年同期比 (%)	108.9%	104.4%	101.1%	97.1%	96.2%	95.4%
開園累計	1,492,676	1,496,980	1,501,160	1,503,555	1,504,262	1,506,472

10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
9,954	11,910	8,040	4,449	4,569	3,705	92,679
3,318	3,970	2,680	1,483	1,523	1,235	30,893
84.9%	92.6%	79.5%	82.2%	106.4%	78.8%	91.2%
3,058	3,712	2,429	1,263	1,279	939	27,688
832	1,125	856	814	896	702	10,354
1,972	2,358	1,490	290	252	172	14,773
37	49	30	11	13	14	311
12	12	5	0	3	0	85
186	134	16	91	22	0	1,737
68	95	67	68	109	65	824
260	258	251	220	244	296	3,205
258	253	242	209	237	291	3,105
2	5	9	11	7	5	100
20,002	23,972	26,652	28,135	29,658	30,893	30,893
93.5%	93.3%	91.7%	91.2%	91.8%	91.2%	91.2%
1,509,790	1,513,760	1,516,440	1,517,923	1,519,446	1,520,681	1,520,681

②有料施設利用者数 施設名：研修室

月別	計測方法	利用者数(人) *オンライン利用も含む		
		市内	市外	合計
4月	受付簿、口頭確認、研修室 予約表よりカウント	—	—	285
5月		—	—	226
6月		—	—	331
7月		—	—	394
8月		—	—	136
9月		—	—	690
10月		—	—	407
11月		—	—	298
12月		—	—	131
1月		—	—	136
2月		—	—	191
3月		—	—	171
年間合計		—	—	3,396

(様式4) 業務の第三者委託実績

業務	内容	再委託会社 及び金額(円)	年回数	実施月日	評価	対応状況
園地管理 (一部)	除草、危険木 処理等	株式会社港南植木 ガーデン ¥8,988,760	通年	通年	良	指示に従って適切 な時期に安全に実 施
	ナラ枯れ対 応	¥1,586,200	1回	3月	良	
機械警備	機械警備、夜 間建物警備	京浜警備保障株式 会社	通年	通年	良	良好
消防設備 保守	消防設備の 定期、法定点 検	¥693,660	各1回	6, 2月	良	法令に基づく点検 を実施
空調衛生 設備保守	冷水器保守	株式会社 OSG コー ポレーション ¥33,000	1回	12月	良	良好
清掃	施設の床清 掃、トイレ清 掃	いずみ野ビルシス テム株式会社 ¥2,476,057	通年	通年	良	良好
清掃(産 廃処理)	産廃の回収 処分	アイテック株式会 社 ¥173,349	通年	通年	良	良好
空調衛生 設備・電 気設備保 守	空調保守点 検、電気設備 保守点検	株式会社神奈川保 健事業社 ¥220,000	1回	9月	良	法令に基づく点検 を実施
	受水槽保守 点検・清掃		1回	9月	良	良好

(様式5) 年度修繕実績

修繕年月日	修繕箇所	金額(円)	委託業者名または直営かの記載	対応状況
R6.5.5	展示室モニターの表示不良	75,350	妙光電気(株)	経年劣化のため新品に交換
R6.7.25	トランシーバーロングアンテナの破損(1本)	4,829	(株)モノタロウ	不良交換
R6.8.9	トランシーバー1機を新規購入	25,526	Amazon	不良交換
R6.9.2	観察センター北側外壁の羽目板の釘の浮き	-	直営	釘の打ち付けにより修復完了
R6.9.13	リヤカーの故障(タイヤパンク、ホイールの不具合)	39,600	根本自動車工業	不良交換、不良修理
R6.9.13	エンジン式刈り払い機の不具合	11,645	ロイヤルプロ横浜上郷	不良交換
R6.9.20	擬木誘導看板の破損(3か所)	399,850	(有)長島巧芸	再設置
R7.12.4	観察センター自動ドアのサムターン不良	19,800	(株)神奈川ナブコ	サムターンの清掃により修復、経過観察
R7.12.22	事務室空調の室外機の故障	341,000	(株)トキワクリエイティブ	不良交換
R7.1.5	電動式チェーンソーの不具合	7,177	ロイヤルプロ横浜上郷	不良修理
R7.2.4	研修室ホワイトボードの回転ストッパー	3,916	(株)ウチダテクノ	部品交換により修復
R7.3.3	正受水槽内部のボールタップ動作不安定	52,800	(株)神奈川保健事業社	部品交換により修復
R7.3.4	展示コーナーのダウンライトの点灯不良	217,800	(株)トキワクリエイティブ	新品に交換
R7.3.6	擬木誘導看板の破損(アキアカネの丘上)	135,850	(有)長島巧芸	再設置
R7.3.10	FRP製正受水槽天井部の経年劣化による日光透過	267,740	T.K.Kエンジニアリング(株)	天井部外部へのFRP樹脂ライニング工事により修復
R7.3.10	FRP製正受水槽側板部の経年劣化による日光透過	263,560	T.K.Kエンジニアリング(株)	本体外部への劣化防止コーティング工事により修復
R7.3.25	外倉庫(ヨド物置製)のドア等破損	111,320	ロイヤルホームセンター港南台	経年劣化のため新品に交換
R7.2.14	観察センター自動ドアのサムターン不良	123,200	(株)神奈川ナブコ	再発したためサムターン、錠前を交換により修復
R7.3.31	ゲンジボタルの谷の木道修繕	187,000	櫻井造園土木(株)	再設置
R7.3.31	ごろすけ館のロールカーテンのカビ等による汚損	352,000	(株)川上工務店	経年劣化のためカーテン部分を新品に交換
支出金額合計		2,639,963		

(様式6) 年度増減備品一覧(指定管理者購入分)

品名	形状・その他	単価(円)	購入		増減数	増減理由
			数量	年月日		
はく製	イタチ	33,000	1	R6.4.25	1	展示用に購入
トランシーバー	ALINCO デジタル簡易無線 1W タイプ DJ-DP10A	25,526	1	R6.8.29	1	新規購入
カメラ	Nikon COOLPIX P950	95,480	1	R6.11.20	1	不調による購入
フィールドスコープアダプター	Kowa TSN-UN1	17,600	1	R7.1.8	1	新規購入

品名	形状・その他	単価 (円)	購入		増減 数	増減理由
			数量	年月日		
ネットワーク ハードディス ク	LinkStation LS710DNB シリーズ 4TB	41,140	2	R7.1.18	2	新規購入
車いす	ICHIGO ICHIE スタンダ ードモジュール	33,830	1	R7.3.11	1	新規購入

(様式7) ①苦情対応報告

No.	日付	内容	対応結果
1	R6.4.6	一般来園者より:鎌倉天園ハイキング コースマップの紙媒体が欲しいとご 要望があった。同様の要望が他8件あ った。	代替として円海山マップを提供。紙媒 体の利用希望を調べるために、当日中 に鎌倉方面に向かう利用者に対して 紙媒体の地図を提供することとした。
2	R6.4.23	近隣住民より:長倉トイレ屋根のコケ がはがれ落ちてくると指摘があった。	お詫びと、今後対応予定と回答。後日、 コケの除去作業を行った。
3	R6.5.12	友の会会員より:観察中にトレイルラン ニングの利用者が走って追い抜い て行くことがあった。観察の森や周辺 緑地で追い抜く際はゆっくり歩くな ど声掛けをしてほしい。	観察の森では、ランニングする方に対 してのフィールドマナーはないが、同 様な意見を多くいただいている。対応 などについて検討すると回答。今後の 対策を環境活動事業課と相談した。
4	R6.5.19	一般利用者より:通行止めになっている ミズキの道の復旧はいつか? 1、2 年後くらいには通れるか。	不便をお詫びし、復旧の難しい規模の 崩落のため迂回路を作る予定があり、 もうしばらくお待ちくださいと回答。
5	R6.6.11	皮膚科医師より:5.25の学校利用時 に発生した”かぶれ”について、一部 の児童を診察した結果、独特な皮膚炎 であり、目に入れば視力障害を起こす レベルであることが判明したので、原 因究明を進めるように要望があった。	情報提供にお礼を伝え、調査を行うと 回答。後日、学校、野外活動指導者、 レンジャーによる現場検証を行い、児 童を診察した皮膚科医師と有毒植物 に詳しい専門家の協力も得て、原因 を、コクサギの汁が付着した後、日光 を浴びたことによるものと結論付け た。その後、園路沿いのコクサギの剪 定、注意サインの設置と普及用資料の 作成配布、ホームページ上での注意喚 起を行った。
6	R6.8.3	友の会会員より:生態園に樹液が出て いる木があるのでスズメバチ注意の サインを設置してはどうか。	現地を確認して、対応しますと回答。 サインの設置を行った。
7	R6.8.14	近隣住民より:カシの森隣接地の駐車 スペースにクズのつるが伸びてきて いるので切って欲しい。また住宅地に 面した草地も草が繁茂している。	お詫びを申し上げ、対応しますと回 答。クズについてはその日のうちに除 去した。後日、草地の除草作業を行っ た。

No.	日付	内容	対応結果
8	R6. 8. 26	団体利用者より:研修室についてパンフレットには「自然観察などの野外活動に関わる活動に利用できます。無料。」とあるのに、料金が発生するのはなぜか。誰が決めているのか。	後日電話で、料金は条例によると回答、パンフレットの誤記についてはお詫びした。市と誤記について共有、「無料」の文言を削除することとした。ホームページのデータを修正した。
9	R6. 9. 29	長倉町自治会会長より:町内の観察の森寄りに防犯カメラを3台、市民局栄区の補助金で設置することになった。可能であれば観察の森でも長倉ロゲート付近への設置を検討してほしい。	横浜市と相談しますと回答。
10	R6. 10. 5	イベント参加者より:ミズキの道19-20の舗装路が滑りやすかった。	現場を確認して対応しますと回答。コケの上の落ち葉の除去を行った。コケについては別途対策することとした。
11	R6. 10. 12	一般利用者より:天園の獅子舞入口付近に胸高直径70~80センチの倒木がある。鎌倉市のことと思うが紅葉シーズンも控えているので対応をお願いしたい。	情報提供にお礼し、管理者に伝えると回答。鎌倉市観光案内所と同市観光課へ情報を共有した。観光案内所からは同様の情報提供が複数あり、注意喚起中と回答があった。観光課からは私有地のため倒木処理は行えないと回答があったが、後日、地権者と調整し処理したとの連絡があった。
12	R6. 10. 13	イベント参加者より:タンポポの道10番~9番にかけて自転車で爆走している人がいて危なく感じた。	マナー周知の不行き届きをお詫びし、巡回を強化すると回答。
13	R6. 11. 4	一般利用者より:横浜市の緑の10大拠点のポスターはないか。	配布できるものはないと回答。
14	R6. 12. 20	友の会会員より:水域の観察場所を増やすため、ゲンジボタルの池の木道を一般開放してほしい。	開放の方向性はあるが、木道の破損のため、修繕前には開放できないと回答。その後、修繕を3月に実施。
15	R6. 12. 25	上郷・森の家より:体の不自由な児童がいる学校からバスを森の家口まで乗り入れる要望を受けることがあるが、路肩に木の枝が伸びていると運転手に拒否されることがあるため、剪定が必要。森の家でも実施しているが、観察の森側でも極力、剪定をお願いしたい。	3月までに剪定を実施した。
16	R7. 1. 19	友の会会員より:モニタリングサイト1000里地調査の結果のとりまとめについて、他のサイト、国全体ではなく個別のサイト単位のとりまとめをみたい。	調査事務局へ要望として伝えますと回答。後期提出書類の要望欄に反映させ、事務局へ伝えた。

No.	日付	内容	対応結果
17	R7. 2. 19	一般利用者より:調査報告は誰でも投稿できるのか。書き方の相談をしてもらえるのか。	テーマの相談や、執筆した原稿への改善点を伝えることは対応できる。作成指導までは対応しかねると回答。
18	R7. 2. 19	一般利用者より:来月の利用のために英語版の地図があれば欲しい。	当会作成の英語版ガイドマップが HP からダウンロード可能と案内した。
19	R7. 3. 23	団体利用者より:室内で食事できる場所はないか。暑さを避ける場所が欲しい。	あずまやを紹介したうえで事前予約により研修室を使用できることを伝えた。
20	R7. 3. 30	友の会会員より:新設観察路は、ぬかるみ、滑りやすい、急傾斜のあるコースであるため、何か所かにサインを設置し、他の道があることも知らせてはどうか。	お礼と検討する旨を伝えた。

②事故対応報告

No.	月 日	事件・事故・災害等の内容	処理の方法
1	R6. 5. 12	行事参加者1名が、靴ひもを結ぶ際に、よろめきしりもちをついた。	ケガ等がないことを確認した。当該の方はその後、活動を継続した。
2	R6. 5. 21	宿泊体験学習を実施している市内小学校を対象にした「レンジャーと森を歩こう」の野外活動中、参加者の児童数名が暑さによる体調不良を訴えた。	体調不良者は館内で休息をとらせ、1名は救護室で安静にさせ保冷剤を提供。回復した児童は活動に復帰した。当日、学校側の要望で開始時の待機場所を変更したが、当初予定の場所よりも日照が強かったことが判明。今後は待機場所に配慮するようレンジャー間で申し合わせた。
3	R6. 5. 24	野外観察活動を行った小学校の児童60名中の約半数に皮膚炎(かぶれ、色素沈着)が発生していることが後日判明。【苦情対応5と同一】	(事故について後日判明したため、事後対応のみ) 【苦情対応5を参照】
4	R6. 6. 5	友の会による草刈り作業中、地面に落ちていた野草保護の囲いの紐が刈払機に巻き込まれてしまった。	刈払機の飛散防止カバーとチップソーが破損した。ケガはなかった。使用済みロープの回収の徹底することをレンジャー間で確認した。
5	R6. 6. 8	炭小屋前のベンチで動けなくなっている来園者がいると連絡があった。	レンジャー2名が現場で対応。当該来園者は団体利用者の一人で、眠気があり休憩していたが特に体調不良ではないとのことだった。その後、団体に合流、帰宅された。
6	R6. 6. 12	森の家一般駐車場からの階段を上がりきった藪の中で、散歩中の飼い犬(柴犬)がヘビに噛まれたとのことで飼い主の方が自然観察センターへ来館。犬は歩行が困難になって	傷口を確認後、出血をウェットティッシュで拭き取った。噛みあとがマムシ咬傷の特徴と酷似していた。その後すぐに飼い主が動物病院に連れていった。6.14に飼い主が来館され、受診後、無事回復し

		おり、時折吐くような動作がみられた。	たのご報告をいただいた。森の家口の階段等、マムシの生息が疑われる箇所に、「マムシ注意」の掲示を設置した。
7	R6. 6. 15	友の会会員が、作業前の朝礼中に意識がもうろうとし受け答えが困難になったと連絡があった。	レンジャー2名で現場対応し、救急車を手配した。搬送時には受け答えができる程度に回復し、搬送先で回復し活動に戻られた。
8	R6. 7. 7	あごに切り傷を負って出血した状態で60代男性が来館。金沢市民の森内をトレイルラン中に転倒したとのことだった。	止血対応し、休憩させた。横浜市救急相談センターのアドバイスを受け、受診先を決定して帰宅された。事故現場が園外の市民の森であったため、環境活動事業課経由で、担当部署へ情報共有。8.18に怪我をした本人が来館し、お礼と完治の報告があった。
9	R6. 8. 12	ハイカーの2人組の男性のうち1名が、頭部1か所をハチに刺され、痛みがあるという事でセンターに来館した。大丸山作業路を通り抜けようとしたとのことだった。	レスタミン軟膏を提供し、保冷剤で頭部を冷やして安静にさせた。40分ほど研修室で休まれた後、症状が軽快したためバスで帰宅された。事後、事故現場にハチ注意の看板を設置。環境活動事業課を通じ、担当部署である南部公園緑地事務所に報告した。
10	R6. 9. 11	学校利用の児童が体調不良（軽度の熱中症か）で4名来館した。	館内で休憩場所を提供した。休憩と展示見学をして過ごした後、軽快したので団体の活動へ戻った。
11	R6. 10. 4	一般来園者の70代男性が、霊園口階段で転倒し、左ひじあたり5cm程度の裂き傷を負った状態で来館した。	横浜市救急相談センター（#7119）への電話相談および救急車の手配を行った。現場を確認したところ、石段や落ち葉が雨で滑りやすい状況で、足元注意サインの設置はあったが、階段の下り方向には表示されていないなかったため、“あしもと注意”サインを下り方向にも設置した。また、霊園口階段にブラシをかけ、落ち葉や藍藻を除去した。ご家族から10/6に電話で治療の様子についてご報告があり、12.6、本人が経過の報告と対応のお礼に来館された。
12	R6. 11. 6	長倉口入口にて不法投棄があった。鉄製円盤状の蓋（直径50cm・厚さ3cm）・植木鉢（小）×5個。	状況を記録したうえで投棄物を回収した。長倉口入口付近の草刈と低木の伐採を行い、見通しを改善した。
13	R6. 11. 7	学校利用の教員が関谷奥見晴台でササの刈跡を踏み抜いて足に怪我をしてしまったと情報提供があった。	現場確認とササの刈り跡の処理を行った。事故報告書を作成し、事故現場を管轄する南部公園緑地事務所へ連絡した。

14	R6. 12. 10	アライグマ巡回ボランティアが、活動中に湿地の階段で転倒し、右頬を地面に打った。	センターでケガや意識状況を確認、顔右側の痛み以外の異常は見当たらなかったが経過観察と病院の受診をお願いした。受診の結果は異常がなかったとご報告があった。ボランティア活動保険の申請と適用範囲について案内をした。
----	------------	---	--

(様式 8) 市民サービスの向上や観察の森の魅力向上・利用促進結果

<p>1) 自主事業を含めた提案事業の方向性と狙いのまとめ</p> <p>生きものの保全と人や地域とのつながりを大切に、「生きもののにぎわいのある森」づくりをベースにして、この森を基盤として、利用者が園内の自然や生き物にふれあう機会をつくり、利用者の誰もが安全に安心して自然観察ができる環境づくりに取り組んだ。</p> <p>2) 市民サービス向上のための取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業で令和5年度に製作した映像コンテンツ「ようこそ！横浜自然観察の森へ」をホームページで公開、ガイドマップにアクセス用 QR コードを貼付する等、積極的に PR を行った。 ・多様な自然環境ごとに、さまざまな生きものがくらしていること、そして季節に応じて森の景観や生きものたちのくらしの変化があることを紹介するため、企画展示にて「展示でめぐる観察の森の春夏秋冬」と題し、代表的な生きものの写真、見どころ等を展示した。 ・「草地の生きものを知ろう、調べよう」、「鳥類調査超入門」等予定していた主催行事はすべて対面で実施した。「生きもの講演会」は、昨年度予定していたテーマで開催することができた。「おさんぽラリー」は、春は栄区区政推進課の協力を得て区のマスコットキャラクターにもなっているイタチをテーマに、秋は秋の生きものと森のマナー普及をテーマに、実施した。 ・自主事業として、株式会社ニコンビジョンの CSR に協力して野鳥観察会やスタンプラリーが体験できる「森のいきもの観察 DAY」を当会普及室と共に実施し、のべ 182 人が参加した。また当会普及室と連携し「集音器探鳥会」を 1 回実施した。 <p>3) 利用促進への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄区民まつりへ友の会と協働で出展した。施設紹介タペストリーを掲示、ガイドマップや行事案内チラシを配布するなど、地域住民の方々へ PR に努めた。 ・市内学校の利用に対し、オンラインによる利用説明会を計 16 回実施し（129 校参加）、安心して利用できるようサポートした。また 15 分レクチャーを希望の学校に無料で提供した。 ・イベント、園内の工事、危険個所の情報等をホームページや園内掲示等で速やかに発信した。 <p>4) 環境行動市民の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育機関と連携し、学生のインターンシップや職業体験の受け入れを行った。 ・友の会のボランティア活動について、各プロジェクトと活動内容を相談、サポートを行った。安全細則改定に向けた準備や意見交換のサポートを行った。 <p>5) 利用者ニーズ把握の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年同様、利用者向けアンケートを実施した。イベント開催の際は、アンケート調査を実施した。（様式 12 参照） ・館内、野外においてスタッフは常に来園者に積極的に挨拶をし、常に意見が寄せられる関係づくりに努めた。 ・上郷・森の家とはこれまで以上に綿密に打ち合わせを行い、両施設の利用者からの声を共有して対応策の検討も行った。園内の利用方法についてマナー普及やイベントのチラシ・ポスターを提供し、配布への協力を得た。 <p>6) 課題に対する運営改善策</p> <p>地域との連携を課題とする中、以下の 2 点について取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元住民への情報提供、交流 上郷・森の家と共に、長倉町自治会に対して防災・防犯をテーマにした連絡会（第 5 回）を開催した。また、上郷東連合町会会合に 2 回参加し、施設の紹介やイベント広報のためのチラシ回覧への協力依頼を行った。 ・希少種調査 金沢自然公園の職員や日本野鳥の会神奈川支部の協力を仰ぎ、希少鳥類の調査を行った。以上 2 点のほか、栄消防署上郷消防出張所の山火事防止キャンペーンに協力した。

(様式9) 収支報告書 (指定管理料のみ)

科目	当初予算額	補正額	予算現額	決算額	差引	説明
	(A)	(B)	(C=A+B)	(D)	(C-D)	
収入の部						
指定管理料	55,300,000	2,276,400	57,576,400	57,576,400	0	補正：ナラ枯れ、賃金スライド
利用料金収入	46,000		46,000	6,000	40,000	
自主事業収入	432,000		432,000	240,112	191,888	
雑入			0	144,306	-144,306	自販機収入、原稿料、市委託工事業者電気料戻し
その他雑入			0		0	
収入合計	55,778,000	2,276,400	58,054,400	57,966,818	87,582	

科目	当初予算額	補正額	予算現額	決算額	差引	説明
	(A)	(B)	(C=A+B)	(D)	(C-D)	
支出の部						
人件費	30,024,000	635,200	30,659,200	30,666,265	-7,065	
給与・賃金	25,408,000	635,200	26,043,200	25,809,829	233,371	
社会保険料	2,710,000		2,710,000	2,688,999	21,001	
通勤手当	1,842,000		1,842,000	1,247,178	594,822	
健康診断費	64,000		64,000	48,219	15,781	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0		0	872,040	-872,040	中退共掛け金
事務費	2,047,500	0	2,047,500	1,583,391	464,109	
旅費	394,000		394,000	107,187	286,813	
消耗品費	647,500		647,500	607,215	40,285	
会議賄い費	5,000		5,000	0	5,000	
印刷製本費	17,000		17,000	17,777	-777	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
(横浜市への支払い分)	0		0		0	
(その他)	0		0		0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	30,000		30,000	49,157	-19,157	
施設責任賠償保険	294,000		294,000	286,160	7,840	行事保険料を含む
職員等研修費	236,000		236,000	149,520	86,480	
振込手数料	25,000		25,000	17,348	7,652	
リース料	399,000		399,000	349,027	49,973	コピー機、AED
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
自主事業費	168,500		168,500	189,294	-20,794	
管理費総合計	23,538,000	1,641,200	25,179,200	24,770,198	409,002	
光熱水費合計	1,670,000	0	1,670,000	1,372,174	297,826	
光熱水費(電気)	1,400,000		1,400,000	1,200,334	199,666	
光熱水費(ガス)	0		0	0	0	
光熱水費(水道)	150,000		150,000	152,055	-2,055	
光熱水費(下水道)	120,000		120,000	19,785	100,215	
清掃費	2,705,950		2,705,950	2,649,406	56,544	
修繕費	1,830,000		1,830,000	2,639,963	-809,963	
機械警備費	757,020		757,020	693,660	63,360	消防設備保守含む
施設保全費	9,220,000	1,586,200	10,806,200	10,827,960	-21,760	
空調衛生設備保守	220,000		220,000	253,000	-33,000	決算額：電気設備保守、冷水器保守(その他保全費から移動)を含む
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
その他保全費・園地管理費	9,000,000	1,586,200	10,586,200	10,574,960	11,240	補正額：維持管理費(ナラ枯れ対策)決算額：冷水器保守33,000を空調衛生設備保守へ移動
共益費(合築等の場合)	0		0	0	0	
公租公課	24,800	0	24,800	1,936,565	-1,911,765	
公租公課(事業所税)	0		0	0	0	
公租公課(消費税)	0		0	1,931,925	-1,931,925	
公租公課(印紙税)	22,000		22,000	4,640	17,360	
その他公租公課	2,800		2,800	0	2,800	
事務経費	6,616,230	55,000	6,671,230	3,997,070	2,674,160	
事務経費(本部分)	6,616,230		6,616,230	3,942,070	2,674,160	
事務経費(当該施設分)	0	55,000	55,000	55,000	0	補正額：ナラ枯れ対策事務経費
その他経費(当該観察の森分)	714,000		714,000	653,400	60,600	通信運搬費、その他委託費、講師謝金等
支出合計	55,778,000	2,276,400	58,054,400	57,209,148	845,252	
差引	0	0	0	757,670	-757,670	

(様式 10) 運営目標・実績報告

目標設定の視点	当初設定した運営目標	当初設定した管理指数・数値	実績	目標との差異	今後の取組(改善計画)
業務運営1 (達成目標、運営業務の実施方針)	環境学習、環境調査、環境管理を事業の柱に、ビジョン「生きもののにぎわいのある森づくり」を目指して取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習：横浜の森の魅力を多くの人に発信し、その価値を広く伝えることで、新規来園者を増やします ・環境調査：生きもの生態を考慮し、適切な調査を行います。得られた調査結果は、順応的管理の基礎データとして活用します ・環境管理：保全管理計画や維持管理基本水準書、生きもの生態などを考慮し、適切で細やかな管理を行います 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートより、33.9%の方が初めての利用者だった。オンライン説明会を実施し、宿泊予定校の81.1%の参加があった。 ・栄区民まつり出展、館内フォトスポット設置、施設紹介動画の配信等により、施設のPRを行った。 ・環境調査やレンジャー・ボランティアの日常の観察を基に鳥類の繁殖や植物の開花等を考慮して環境管理を実施した。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、宿泊校の利用を促進できるように、オンラインによる利用説明会を開催する。 ・引き続き、環境調査で得たデータを環境管理に反映させ、また環境教育に活用していく。 ・希少種については、観察資源としての情報提供と保全の両立に配慮した上で、情報発信・マナー普及を行っていく。
業務運営2 (利用者サービスの向上、利用者満足度や利用者数の増、利用しやすいさ向上)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 利用者アンケートに注力 2) 利用促進のツールをリニューアル 3) ボランティア活動や周辺緑地の紹介 4) 園内の保全活動の普及 5) 調査ができる市民の育成 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 利用者の声を積極的に運営に反映させます 2) 観察の森の自然や魅力の紹介をする映像コンテンツを配信します。また、新たに作成した鎌倉までのマップを活用します 3) 友の会への体験会を年6回実施します 4) 園内の保全活動への理解を深める機会を提供します 5) 調査体験会を年2回計画し、参加者を募ります 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 野外整備やサイン類に対するご意見に基き、環境管理や表示更新を実施 2) 英語版ガイドマップ、鎌倉マップや映像コンテンツをホームページで公開。映像コンテンツの館内放映や団体へのDVD貸出も実施 3) 5回実施し、36名の参加があった。 4) 保全管理懇談会を2回、勉強会を2回開催した。 5) 「鳥類調査超入門」や草地のスポットセンサスにおいて調査方法の指導や体験の機会を提供した。 	なし	<ol style="list-style-type: none"> 1) サービス向上のため自然情報のホームページ公開など検討予定。 2) 映像コンテンツは、館内での映像放映や団体へDVD貸出を行うなど積極的に活用する。 3) 引き続き、友の会活動の魅力を発信する体験説明会を実施していく。 4) 引き続き保全活動への理解を深める機会を提供する。 5) e-Birdの普及を通して観察を記録できる人材を育成する。

目標設定の視点	当初設定した運営目標	当初設定した管理指数・数値	実績	目標との差異	今後の取組(改善計画)
業務運営2 (つづき)	6) 企業と連携した教育イベントの実施	6) 企業と連携し、子どもたちに自然体験の機会を提供します	6) 親子向けイベント「森のいきもの観察DAY」を1回開催した。	なし	6) 引き続き、企業と連携していく。
業務運営3 (人員配置、緊急時対応計画、防犯防災、災害対応)	1) 動物や自然環境への深い興味と関心・知識を持ち、高い意欲のあるレンジャーを配置 2) 消防署や警察署の協力による防災・防犯指導の受講	1) レンジャーは平日3名以上、祝休日等の繁忙期は4名以上配置します 2) 栄消防署上郷出張所との情報共有を行います	1) 予定通りの適切な人員を配置した。 2) 長倉町自治会主催の自主防災訓練に参加し、栄消防署上郷出張所からの指導を受けた。	なし	1) 継続する。 2) 緊急時こ早急に的確な対処ができるよう警察署・消防署、周辺町内会との連携を強めるとともに、訓練を積み重ねていく。
人材育成 研修実施 効果等	1) 環境教育、環境調査、環境管理等についてスキルアップ 2) 来園者の急病、怪我を想定した対応	1) OJTによるスキルアップ月2回以上おこないます 2) 救急救命講習をレンジャー7名が修了し、必要に応じて再受講します	1) 適宜実施した。 2) 全レンジャーが取得した。	なし	1) それぞれの得意分野を活かし、スタッフの更なる研鑽に努める。 2) 新入者の受講と共に、受講から年月の経ったスタッフの再受講を促す。
維持管理1 (施設の保守管理、補修計画)	安全、安心、快適に利用できる施設を維持	維持管理基本水準書に基づき、適期に適切な点検を実施します。異常があった際はすみやかに対処します	維持管理基本水準書に基づき実施した。	なし	継続する。
維持管理2 (清掃、園地維持管理、災害対応)	1) 人や生きもののにぎわいのある森を目指す 2) 安心、安全、快適に利用できる環境を維持する	維持管理基本水準書に基づき、管理作業を実施します。台風、大雪等気象警報発令の際はすみやかに巡回し、利用者の安全を確保します。	維持管理基本水準書に基づき実施し、利用者の多い時期や、警報が発令されなかった荒天の際も、適宜巡回を実施した。	なし	継続する。

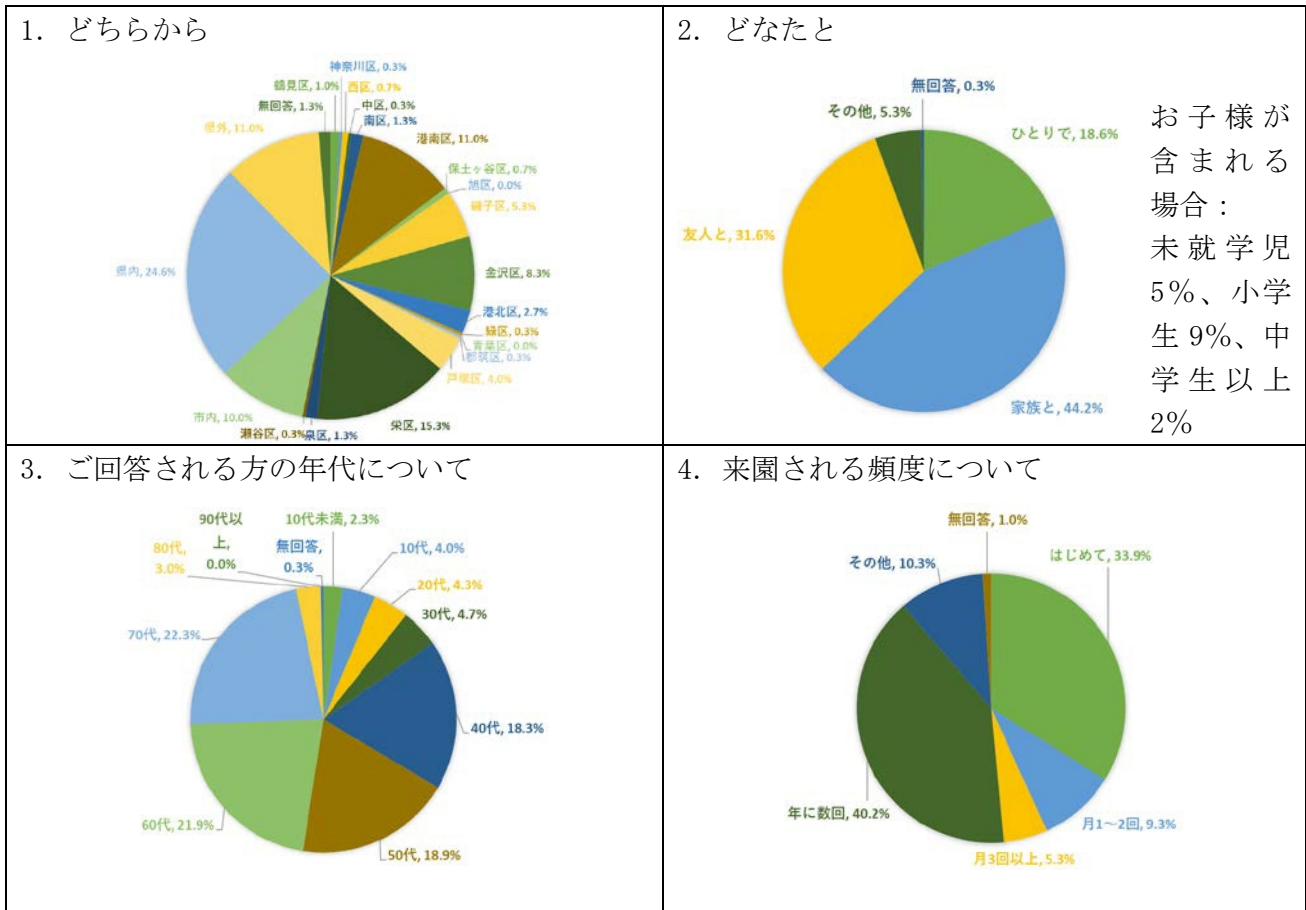
目標設定の視点	当初設定した運営目標	当初設定した管理指数・数値	実績	目標との差異	今後の取組(改善計画)
収支(修繕等、収入、支出)	収支計画に基づいた予算の執行を実施	適切な収支管理による収支均衡に努めます	状況に合わせて必要な支出を調整した。	なし	計画と実績の差異を極力少なくするよう努める。
経費節減策書けない	発生材の再利用	維持管理で出た発生材は、廃棄物として費用をかけ処理するのではなく、粗朶柵等として生き物の生息環境づくりに活用します。また、薪ストーブで出た灰は、畑の肥料に活用します	友の会の管理作業の中で粗朶柵を作成した。友の会の畑作りの活動に灰を提供した。	なし	引き続き、積極的な経費節減に努める。

(様式 11) 自主事業実施報告

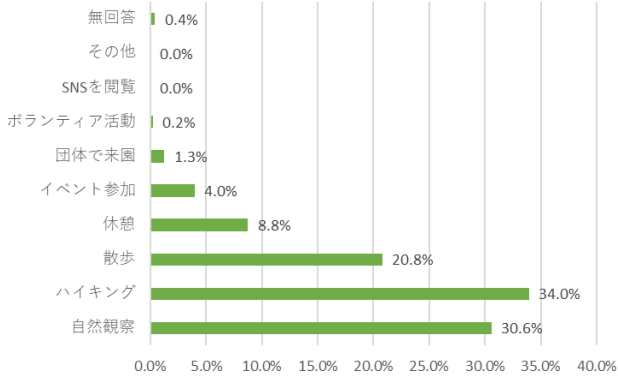
No.	事業名	目的・内容	実施時期・回数・収支状況・実施結果考察
1	希少鳥類調査	希少鳥類の生息状況を調べるため、日没後及び早朝の鳴き声調査を実施。また繁殖期終了後、営巣の痕跡を調べるため、可能性のある区域を踏査した。	4-5月・調査2回、ICレコーダーによる録音調査、踏査1回。声は確認できなかった。
2	環境省モニタリングサイト1000	環境省が実施するモニタリングサイト1000里地調査に友の会とともに協力した。	当会が鳥類、ホタル類、友の会が植物相、中・大型哺乳類、カエル類、チョウ類の調査を担当、継続して調査を実施。また5期植生図調査に向けた調整を行った。
3	外来種除去	園内の生物多様性保全のため、外来種植物、カワリヌマエビ類、アライグマ、タイワンリス、国内外来種モリアオガエルの除去を、友の会ボランティアの協力も得ながら行った。	植物27種139日、カワリヌマエビ類57個体、アメリカザリガニ1個体、アライグマ13個体、タイワンリス16個体、モリアオガエル卵塊68個・成体15個体を除去した。
4	一般参加者へのイベント提供	親子向け自然体験イベント「森のいきもの観察DAY」を企業と共催して提供した。	1日、182名(バードウォッチングツアー、ポイントラリー)の参加者を得た。
5	有料団体対応プログラムの提供	希望があった団体に対し①オリジナルの自然体験プログラム、②横浜市環境教育出前講座プログラムを提供した。	①5件、②2件に対応。186,900円の収入を得た。
6	物販	自然観察の補助となる物品と、ブックレット「都市の森の自然保護 横浜自然観察の森の三十年」を販売した。	45,964円の収入を得た(物品、ブックレットの合計)。

7	インターン・職業体験の受け入れ	地域の教育機関等と連携し、次世代の育成と施設の取り組みの普及のため、業務の体験プログラムを実施した。	横浜市立大学より1名計9日間、横浜市立上郷中学校より2名計2日間の学生の受け入れを実施した。
8	自動販売機の設置	熱中症対策および水道設備の不具合のため前年度に導入した飲料水の自動販売機を継続して運用した。	電気利用料金を差し引いた売上として、56,806円の収入を得た。
9	鎌倉マップ作成	園内～鎌倉方面を掲載したガイドマップをホームページで公開した。	要望に応じ、印刷物を提供した。
10	英語版マップ作成	英語版ガイドマップをホームページで公開した。	要望に応じ、印刷物を提供。また、当会が海外イベントに出展した際にも配布した。
11	緑を見守り調査等ができる市民育成プログラム	「鳥類調査超入門」参加者を対象に、モニタリング調査の実践経験を積む機会提供を計画した。また、ボランティアを対象に草地のスポットセンサスにおいて調査方法の指導や体験の機会を提供した。	モニタリング調査の参加の申し出はなかった。草地のスポットセンサスをボランティアと協同して7回実施した。
12	映像コンテンツ制作	園内の自然環境等を紹介する映像を公式YouTubeで公開した。	オンライン学校利用説明会やリンク付けしたQRコードを貼付したガイドマップでPRした。館内では、週末を中心に上演した。

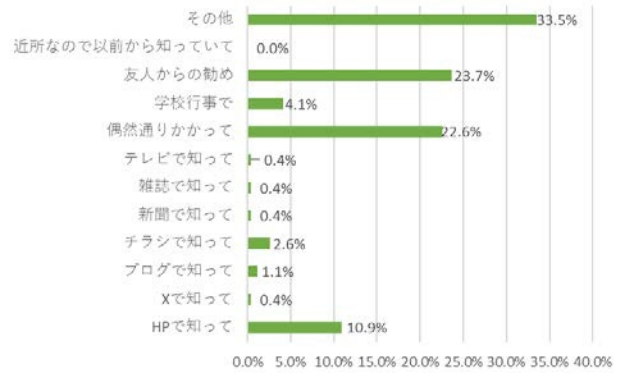
(様式12) 利用者アンケート結果 回答数: 301人



5. これまで(本日含む)の当施設のご利用内容 *

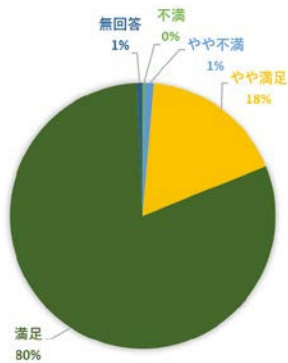


6. 当施設に初めて足を運ばれたきっかけは *

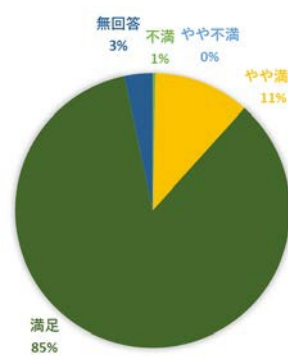


7. 施設の設定について

<センター館内・園路など設備の整備状況>

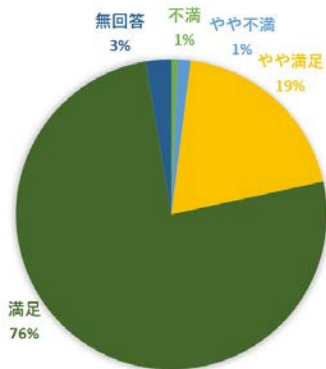


<センター館内・館内トイレ・野外トイレの清掃>

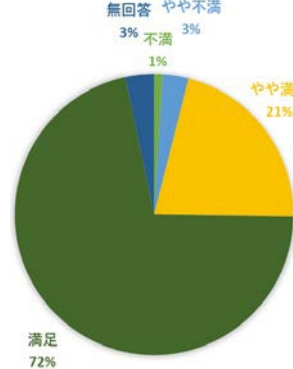


8. 展示について

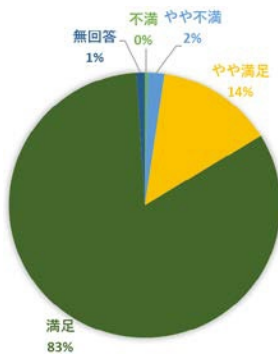
<センター館内の展示の内容とわかりやすさ>



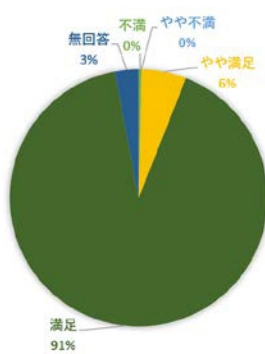
<野外の案内表示・解説板>



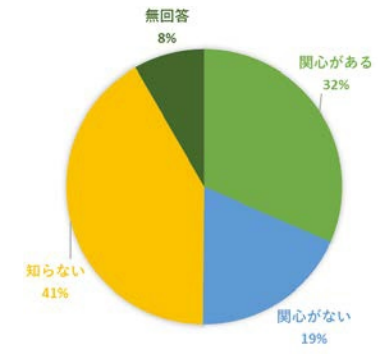
9. 自然環境について



10. スタッフの対応について



11. 施設ボランティアの活動への関心



※「*」マークは、複数回答可の設問であることを表す。アンケートの詳細は添付資料に掲載する。

(様式 13) 研修実施報告

No	実施日	研修名	内容及び効果
1	R6. 4. 2	ビジネスマナー研修	ビジネスマナーの基礎について学んだ。
2	R6. 4. 10-11	個人情報保護研修	個人情報保護についての動画教材の視聴した。
3	R6. 6. 21/9. 3、12	当会個人情報保護マニュアル改定に伴う研修	改定された個人情報保護マニュアルについて、管理職向けと一般職員向けの内部勉強会を受講した。
4	R6. 4. 24	緊急対応マニュアル内部勉強会	緊急対応マニュアルを共有し、更新の検討を行った。
5	R6. 5. 19/9. 30-10. 3 /10. 21-10. 23/12. 1 0-11	他施設視察・野外調査実習	当会が指定管理者を務める東京港野鳥公園における大規模イベントを視察。静岡県下田市、北海道サロベツ原野において当会が開催した鳥類調査実習に参加した。
6	R6. 8. 27-29	チェーンソー取り扱い作業 者に対する安全衛生特別教育	安全衛生特別教育を修了した。
7	R6. 10. 1	障害者差別解消法に関する 内部勉強会	障害者差別解消法について、当会が職員向けとして独自に開催した勉強会を受講した。
No	実施日	研修名	内容及び効果
8	R6. 10. 26/11. 16/12 . 14/ R7. 1. 11/2. 22/3. 22	アグリサイエンス講座「里山 講座」	明治大学主催の講座を受講し、里山の機能、管理・利用、モニタリング手法について学んだ。
9	R6. 10. 14-15/ R6. 12. 4	心のバリアフリー推進員養成 研修講座受講	障害者対応の研修として、動画研修、「肢体不自由の理解」「知的障害、発達障害、精神障害の理解」を受講した。
10	R6. 12. 16、23	ファシリテーター研修	ファシリテーションの手法について実践的に学んだ。
11	R6. 11. 30/12. 28/ R7. 3. 21	インタープリテーション全体 計画に関するオンライン講座	インタープリテーション全体計画について学んだ。
12	R7. 2. 19	バリアフリー内部ワークショ ップ	講師とともに、車いす体験と当施設のバリアフリー検証を行った。
13	R7. 3. 22-23	インタープリター研修	インタープリテーションの手法を学んだ。
14	R7. 3. 28、29、30	人権に関する研修（オンデマ ンド講座）	接客や接遇に活かすユニバーサルサービスについて学んだ。